

## 2026年度出張講義一覧

※授業内容については一覧表の下部にある「授業に関する問い合わせ先」の担当者にお問い合わせください。

※授業内容以外については広報・募集グループにお問い合わせください。

【申込・問い合わせ先】大妻女子大学 広報・募集グループ ☎ 03-5275-6011 Fax 03-3261-8119 ✉ kouhou@ml.otsuma.ac.jp

### 人間共生学部

#### 共生デザイン学科

共に生きる「共生」社会をデザインする力を育てます。社会・心理・福祉・建築・国際・コミュニケーション、リハビリテーション、経済等様々な分野の知識とフィールドワークで、「多様性とグローバルな視点」を養い、共生のあり方を学び、「よりよい社会」を創る力を身に付ける学科です。

最少催行人数：3

No.	授業名	内容	講師名	出張可能曜日	
				前期 (4~7月)	後期 (10~1月)
1	日本に住む外国人との共生	日本で生活する外国人が悩む言葉の壁。言葉が不自由な外国人も安心して生活できるようになる。街角で目にする日本語をやさしい日本語に訳してみよう。	伊藤みちる	要相談	要相談
2	世界の国を知ろう 多文化共生社会での国際協力	南米ガイアナの多文化共生社会をみながら、効率的・効果的な国際開発を考えてみましょう。	伊藤みちる	要相談	要相談
3	「人種」・民族・偏見・差別・多民族共生	偏見・差別はどうして起きるのか。それを超えて、さまざまな「当たり前」を持つ、色々な目の人たちが共生して暮らす社会をみよう。	伊藤みちる	要相談	要相談
4	つながるデザイン 「ユニバーサルデザインを見つけよう」	私たちのまわりにある“すべての人にやさしいデザイン”「ユニバーサルデザイン」を一緒に見つけていきましょう。	大橋寿美子	月・火・土	月・土
5	つながるデザイン 「まちの中の居場所」	まちの中のサードプレイス（第三の居場所）について、事例と一緒にみていながら、居心地の良い居場所について考えていきましょう。	大橋寿美子	月・火・土	月・土
6	つながるデザイン 「自然と共生する住まい」	緑や自然を感じる住まいや暮らしについて考えていきます。また、住宅模型用の植物も一緒に作りましょう。	大橋寿美子	月・火・土	月・土
7	つながるデザイン 「共に暮らす共生型の住まい」	家族を超えて、家事や育児や介護などを支え合って共に暮らす「つながる住まい」について考えていきましょう。	大橋寿美子	月・火・土	月・土
8	つながるデザイン 「折り紙建築をつくろう」	紙に切り込みを入れて、建物が飛び出すカード「折り紙建築」を一緒につくりましょう。	大橋寿美子	月・火・土	月・土
9	JALブランドを支える障害者 ～福祉と企業を跨るジョブコーチ～	障害のある人もない人も誰もがいきいき活躍する職場を作るジョブコーチ。航空会社、銀行、ホテル。様々な企業で障害者雇用が進んでいます。JALを例に誰もが生き生きと働ける職場のあり方について、一緒に考えましょう。	小川浩	要相談	要相談
10	「障害」と「普通」の境界をさまよう ～発達障害って障害なの？～	発達障害という言葉が身近になってきました。発達障害ってどういう障害なの？そもそも普通に見えるけど、どこが普通と違うの？そんな素朴な疑問に答えます。	小川浩	要相談	要相談
11	メンタルヘルス：大切なものは 目に見えない＜そうぞう＞する力	事例を交えながら「多様な状況におかれた他者のことを想像」し、「生きるを護り、楽しむ・働くを創造する」ことについて、ソーシャルワークの視点から考えます。	藏野ともみ	月・火・土	月・火・土
12	まずちゃんと聴く！ 最強のコミュニケーション戦略	異なる価値観を持つ人や、初対面の人と気持ちが通じるのはなぜでしょう。コミュニケーションのからくりを知ると人間関係が上手くいくことが増えます。コミュニケーション戦略の基礎編です。	藏野ともみ	月・火・土	月・火・土
13	パパ2人の家族って？	パパ2人の家族ってどんな形？多様な家族のあり方を学び、自分と違う誰かのことを考えてみましょう。	藏野ともみ	月・火・土	月・火・土
14	グローバルで働く	世界のどこで、何を、どう働くかを自分で決める。グローバル社会における労働力移動について考えてみませんか。	齊藤豊	要相談	要相談
15	グローバルを巡るお金	グローバル社会における「お金」の回り方を考えてみましょう。皆さんが「お金」を使って何かを買ったとそれを売った人は「お金」を手に入れて自分の生活のために使ったり、将来のために投資をしたりします。「お金」はグローバル社会をどう巡っているのでしょうか。	齊藤豊	要相談	要相談
16	高度人材の国際移動	インドからアメリカに移動して稼ぐエンジニアについて考えてみませんか。	齊藤豊	要相談	要相談
17	日本の労働市場と人事施策	日本独特の人事管理と労働関連法から生まれた「働かないおじさん」を解明してみませんか	齊藤豊	要相談	要相談
18	ジェンダーで考える職場の イノベーション	だれもが快適に働くためのジェンダー視点のアイデアで、職場のイノベーションを起こす方法を一緒に考えてみましょう。	高丸理香	月・金・土	金・土
19	働くことは怖くない！職場の あたり前を活かすスキルとは？	働くことは楽しみだけど、ちょっと不安ではありませんか？安心して働ける環境や、自分の能力を発揮するためのヒントを探ってみましょう。	高丸理香	月・金・土	金・土
20	支援をきっかけに地域をデザインする： 誰もが活躍できる社会とは？	リハビリテーションの視点から、支援を通じて地域や社会の形を見つめ直します。健康や生活、働く環境などを題材に、誰もが活躍できる仕組みや共生社会の作り方について、身近な例から一緒に考えましょう。	野崎智仁	要相談	要相談
21	“働ける”って何だろう？ ～働きにくさをデザインで変える	働けるとは何でしょう？働きにくさの背景には、個人だけでなく環境や社会の要因があります。保健医療学の視点から、働き方の工夫など、多様な人が働ける仕組みを探索しましょう。	野崎智仁	要相談	要相談
22	伝わる？伝わらない？ コミュニケーションの不思議	コミュニケーション上手になるために、人とのコミュニケーションにまつわるいくつかの不思議について一緒に考えていきましょう。	本田周二	月・火・土	月・水・土
23	“自分さえ良ければ”がもたらすもの	自分さえ良ければと思って行動したつもりが、実は損をしてしまった、そんな経験ありませんか？人と協力することの大切さを心理学の視点から考えてみましょう。	本田周二	月・火・土	月・水・土

#### 授業に関する問い合わせ先

学科・名称	問合せ先	電話	メール
人間共生学部			
共生デザイン学科	本田周二	042-372-9157 (本田研究室)	<a href="mailto:honda@otsuma.ac.jp">honda@otsuma.ac.jp</a>